

令和6年3月28日

「小規模下水道施設マネジメント指針と解説-2024年版-」 ～維持管理・建設の一体的なマネジメント～ を発売しました

日本下水道協会では、「小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説-2004年版-」の改定を行い、CAPDサイクルを用いて維持管理と建設を一体的にマネジメントを行うことをコンセプトとした「小規模下水道施設マネジメント指針と解説-2024年版-～維持管理・建設の一体的なマネジメント～」を発売しました。

発刊の目的

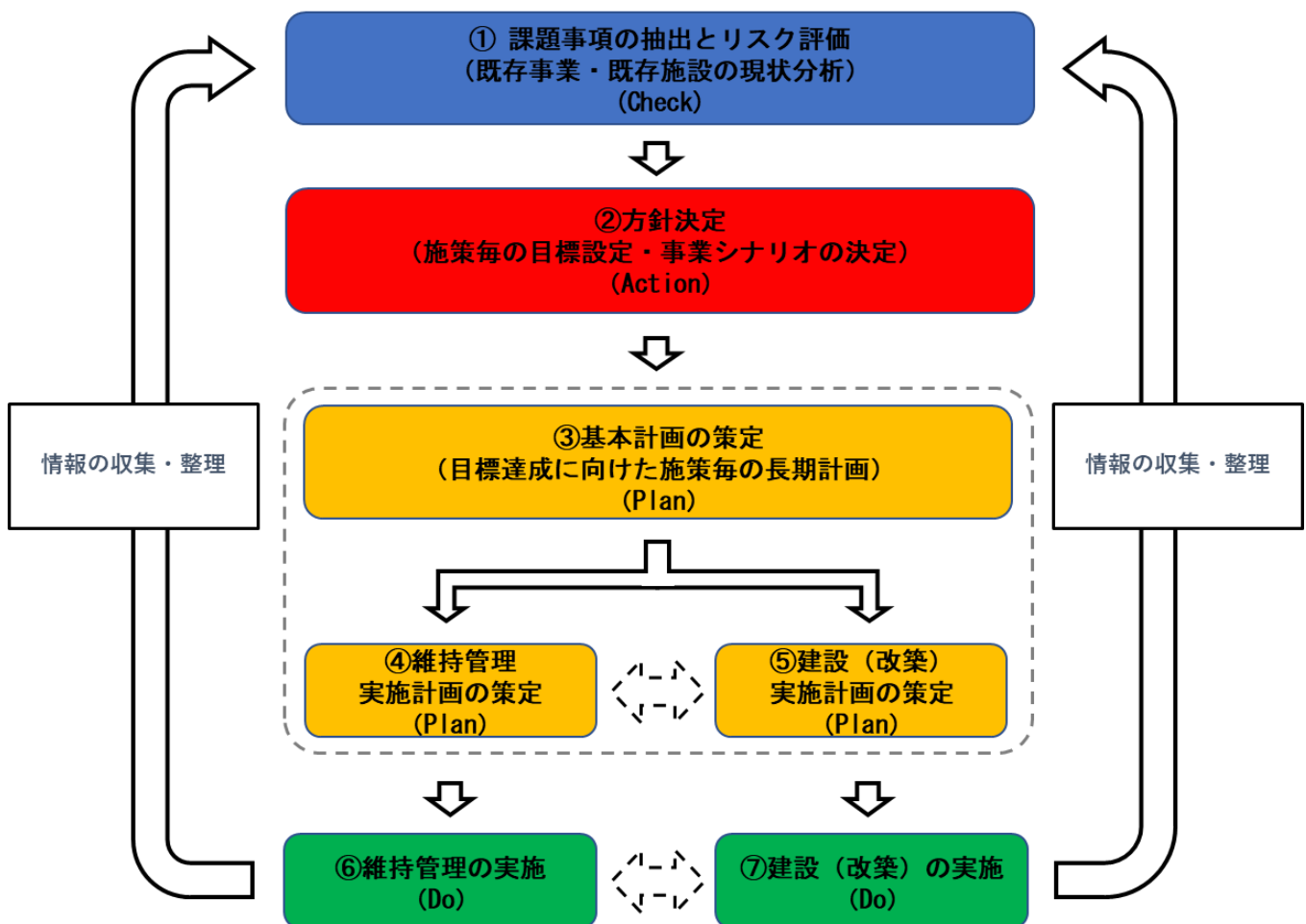
- ・ 日本下水道協会は、1984年に「小規模下水道計画・設計指針(案)」を発売しました。その後1996年に「小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説」として改定を行い、さらに2004年に環境の変化や技術革新、社会情勢等を踏まえた改定を行っています。
- ・ 小規模下水道も整備の進捗に伴い、建設から管理運営の時代に転換しつつあり、施設の老朽化対策などをより効率的に実施することが求められています。その一方で、地球温暖化対策の推進や災害への対応など、新たな課題に取り組む必要もあります。
- ・ こうした背景を踏まえ、2020年に「小規模下水道計画・設計・維持管理指針調査専門委員会」を設置し、指針の改定作業を進めました。
- ・ 改定に当たり、管理運営の時代にふさわしい下水道施設のマネジメント手法であるCAPDサイクル(評価(Check) → 改善見直し(Action) → 計画(Plan) → 実施(Do))を用いるとともに、維持管理と建設のCAPDサイクルを相互に連携させ、一体として推進していくことを明記しました。
- ・ また、情報技術の活用や官民連携、広域化・共同化など、最近の知見を取り入れるとともに、現場条件に応じた設計・維持管理を行う手法にも触れています。
- ・ 本指針が小規模下水道の事業に広く活用されるとともに、下水道技術の発展や継承に寄与するものと期待しています。



主な改定内容

- CAPDサイクルを活用した維持管理と建設の一体的なマネジメント
維持管理・建設で一体的に①既存施設や事業の評価を行い、②事業毎の目標と、目標達成のための方針を決定し、③目標を達成するための長期計画を策定します。
その後④⑤維持管理・建設に分かれて実施計画の策定を行い、⑥⑦事業を実施しますが、実施計画以降も維持管理・建設を相互に連携させることで、一体的にマネジメントを行います。

下水道施設のマネジメントサイクル図



お問い合わせ先: 公益社団法人 日本下水道協会 技術課:

TEL:03-6206-0369 (9:00~17:00) E-mail:shishin@ngsk.or.jp

下水道協会ホームページ: <https://www.jswa.jp/>



小規模下水道施設マネジメント指針と解説

～維持管理・建設の一体的なマネジメント～

—2024年版—

公益社団法人 日本下水道協会